

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム中小田井

目標達成計画

作成日: 平成 27年 12月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	職員の都合により、日常的な外出支援ができていない。	日常的な外出支援ができる	職員の業務の見直しを行い、ケース担当者が利用者様の行きたい場所を把握し、日常的な外出支援を行う。	6ヶ月
2	11	運営に関する職員の意見が反映されにくい。	職員会議・運営会議に非常勤職員が参加することができる。	勤務調整を行い、職員会議・運営会議に非常勤職員が参加できるようにする。 フロア会議を勤務表に組み込み、定期的に行う。	3ヶ月
3	40	食事を楽しむことができていない。	選択食・バイキングを実施する。	月に1回選択食を導入する。 季節行事の際に、バイキングを実施する。	12ヶ月
4	13	研修を受ける機会が少ない。	定期的に施設内研修を行う。	事業計画に沿った研修を実施する。 (救命講習や権利擁護についての研修を行う) 指導職員を決め、OJTでの指導を行えるようにする。	12ヶ月
5	54	居心地よく過ごせる居室環境が整っていない。	居心地よい居室環境を整える。	ケース担当者が本人・家族と相談し、居心地のよい居室環境を整える。 行事の写真や本人の作られた作品などを居室に飾る。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。